

Radio On The Street
西谷文和



発行責任者：西谷文和
連絡先：〒564-0041 大阪府吹田市泉町1-22-33
TEL 06-6170-4757
メール otayori@radiostreet.net

このニュースは募金いただいた方、講演会に参加された方に郵送
しています。今後も年に4回程度発行します。

●ラジオの聞き方

スマホやパソコンで「路上のラジオ」と検索して
ください。YouTubeで聞けます。
チャンネル登録していただきますと、毎回お知らせ
が来るので便利です。

2024.8.15
第22号

大阪危険万博！15万人が帰宅困難者に

大マスコミも伝え始めた

路上のラジオで大阪万博の危険性を訴えてきたが、ようやく大手メディアでも万博や維新政治の批判を報道するようになってきた。象徴的なのがTBSの「報道特集」。藤永のぶ代さんを登場させて情報公開で得た資料などに基づき、ズブズブの土壌、ゴミの処分場から必ず出てくるメタンガスの爆発事故、湯水のようにつぎ込む税金などを詳しく取り上げたのだ。今回のニュースでは「大規模災害



60万食を用意しても一人あたり4食分。数日間閉じ込められたら死亡者が出るだろう

が起きれば、15万人が会場に閉じ込められる」事態について取り上げることとしたい。

リングに上がれば落雷の危機

今年6月、万博協会が防災計画を発表した。それによれば大屋根リングには避雷針がなく、落雷の危険性があることが分かった。万博開催期間は来年の4月から10月。猛暑に見舞われ、積乱雲が発生し、雷雨になる日がある。突然の雷に逃げ遅れてリングの上にいれば死亡するリスク。さらに「飛び移り現象」がある。リングの下に避難していても人間の体は電気を通しやすいため、雷が地面に吸収されずに周囲の人間に飛び移るのだ。過去にも木の陰に隠れていた人に雷が飛び移って死亡事故が起きている。リングの下も危ないのだ。

地震や大雨で帰れない

防災計画によれば、震度6弱の地震で夢咲トンネルは不通、地下鉄が止まり15万人が数日間、会場に取り残される。台風や線状降水帯が発生して1時間80ミリの雨が降ればやはりトンネルが水没、夢舞大橋は強風で通行止。パピリオ

ンの1階部分が浸水して、やはり15万人が取り残される。おそらくそんな事態になれば電気は停電し、上下水道は止まってしまう。夢洲には日陰が少ない。酷暑の中、熱中症で倒れる人が続出し、飲料水が切れてしまえば死亡リスクが高まり、トイレも溢れて使えなくなるだろう。諸外国からやってきた参加者からは「こんな危険なところで開催した責任が、日本にある」と、訴訟されるかもしれない。

平時でも熱中症が続発？

この防災計画に基づいて避難訓練が行われた。ドクターヘリで救出する場面がNHKで報道されていたが、相当な人数が急病人になるだろう。すべての人々をヘリで救出できるわけではない。幸いにして半年間、地震も台風の直撃もなかったとしよう。問題はやはり猛暑。8月4日に夢洲へ行って気温を計ったが、アスファルトの上に置いた温度計はなんと40度を超えていた。日陰の少ない夢洲、かんかん照りの中をお年寄りや子供たちが歩いていけば、かなりの確率で熱中症になるだろう。しかしこ



「これくらいで済んでよかった」と言い放つ整備局長。メタンガス=危険はイメージ?

医療班を置くというが、果たして緊急対応は可能か？重傷者を病院に連れていけるのか？橋とトンネルは常に大渋滞。そもそも救急車がすぐに島にたどり着けるのか？

協会そのものが一番危険

その上に万博協会そのものの体質が心配だ。とにかく隠すのであつた。3月にメタンガス爆発事故があつた。建設現場はすぐに協会に連絡したが、協会が消防に連絡したのは4時間半後。当初はこの写真1枚しか公開せずに、メディアの取材も禁止。責任者は会見で「これくらいの事故で済んで良かった」と発言し、さらに「メタン＝危険」というイメージを払拭したい」と述べた。メタンはイメージで



現場作業員は「ビックリするくらいの音だった」と証言。なんで通報が4時間半後？

はなく、まさに今そこにある危険だ。爆発事故を起こした責任者が「イメージである」と発言してしまふ。万博協会の無責任体質をもろに現している。彼は最後に「私たちを信じて来てほしい」と締めくくつた。こんな人たちに信じろと言われても信じられるわけがない。

さらに酷いのは、協会は2ヶ月間も外国のパビリオン責任者にこの事故を報告していなかつた。ポランドやノルウェーのパビリオン建設責任者が「命に関わることなので、もっと早く知らせてほしかつた」「現場に救急車を常備させてほしい」などと不安を口にしている。かなりの不信感が残つたのは確実で、こんなことでは彼らがいづ撤退しても不思議ではない。

ヒアリが飛んでくる？

そして夢洲で550匹のヒアリ

が見つかつた。コンテナにくついで海外から運ばれてきたと思われる。ヒアリに刺されると強い痛みが起こり、海外では死亡例もある。大阪市は「殺虫剤で駆除した、万博会場から離れているので大丈夫」と言うが、コンテナヤードと万博会場は道路を隔てただけの距離。ヒアリが万博会場に飛んできても不思議ではない。

問題だらけの万博、こんなところに遠足で子どもたちを連れて行つてはならない。そもそも遠足は学校教育の一環で、それぞれの学校が計画を立てて実行するもの。参加者を増やしたいからと強制するものではない。事故を隠す、誰も責任を取らない、たつた6ヶ月で終わるアホ祭りに税金をズブズブ突つ込む。これが岸田政権と維新政治の特徴である。

各選挙区で公開質問&討論会を

最後に、特に関西地方のリスナーのみなさんに提案を1つ。おそらく年内に解散総選挙があるのではないかと予想する。大阪や兵庫の小選挙区では、必ず維新は候補者を立ててくる。そこでそれぞれの小選挙区の立候補予定者に公開質問状を出して、「あなたは万博に賛成か、反対か」「カジノに賛成か、反対か」を問いただす。維

新の候補が無回答であれば、無回答だつた、とチラシで宣伝すればいいし、「万博推進、カジノ推進」と回答したら、その内容をチラシに書いて、広く市民に知ってもらえる。さらに公開討論会を企画し、直接有権者の前で問うこともできる。維新の候補が欠席するのなら欠席した、と、またチラシにして拡散すればいい。次の選挙は私たち市民が積極的に質問し、問いただすことが必要になる。万博とカジノを止めるには、選挙で審判を下すのが一番だ。受け身の選挙ではなく、積極的に仕掛けて投票率を上げるのだ。いわゆる無党派層が、あきらめたり、白けたりして選挙にいかなければ、この国は本当に沈没してしまう。



ヒアリだけではなく、ダニ、ハエ、蚊、トコジラミなどもやってくる。感染症が心配

小出先生に聞く その16 クレイジーな政府 原発新設を認可

— 今回のテーマは「原発新規増設を容認！原発とリニアで日本壊滅？」です。24年6月16日に経済産業省が「第7次エネルギー基本計画」を発表しました。この中に「原発を廃炉にしたら、その分だけ新規増設を認める」とあります。いよいよ新設を認め始めましたよ

小出 困ったことです。まあ彼ら（原発マフィア）はずつと、そうしたかったし、新設を言えるタイミングを図っていたんだと思います。やっぱりそう来たか、と。

— 例えば福島第一原発を廃炉にしますよね。廃炉にした1〜4号機の分を、東電は柏崎刈羽原発に作ってもいい、と？

小出 基本的には廃炉にしたその敷地に、新規増設するということです。ただ同じ電力会社だったら別の場所でもいい、ということも彼らの計画には含まれているので、新潟県の柏崎に作るのも可能です。そして福島は第一と第二があるので、第二の敷地に作る可能性もあります。

— 福島事故の教訓はどこに行ったのでしょうか？

小出 私はずつと「原発は巨大な危険を内包した機械で、いつ事故を起こすかもしれない」「だから一刻も早く止めなければいけない」と言い続けてきました。しかし原子力マフィアは、原発を作るときに大儲けをしたわけです。事故が起きたら「除染」と称して、また大儲けをした。そして今は福島県の浜通りに「イノベーションコースト構想」という訳の分からない計画で、軍需産業と原子力産業が巨大な箱物を建てて、また大儲けをしています。彼らにとつては原発は作るべきから今までずつと打出の小槌、仮に事故が起きても誰一人として責任を取らなくて済む。これを教訓として学んでいるのです。

— 東電幹部はみんな無罪でしたね

小出 彼らにはもう怖いものはない。だから止めることができない路線なのです。
— 振り返りますと原発を建てた時期、1970年代80年代は、たまたま巨大地震が起きない安定期だった。地震、つまり断層のことをあまり考慮せずに建てますよね？

小出 もともと地震に対する知識もなかったし、地震を観測する機材もほとんどなかった時代です。現在は地震の活動期に入ったと言えます。観測機器をあちこちに並べることがようやくでき始めた。せいぜいここ10〜20年のことであつて、原発を作っていた頃はほとんど何の知識もないまま、「まあやつてしまえ」という調子で作ってきたわけです。

— 新設すれば少なくとも40年は動かす。南海トラフは今後30年で極めて高い確率で動くと言われています。運転期間中に巨大地震が起きてしまう？

小出 地震学者たちは「近い将来、8割9割の確率で動くだろう」とおっしゃっているわけです。でもいつ来るかわからない、40年後なのか、明日なのか。
— 建てたらあかん、つて子どもでもわかる理屈なのですが、電力会社はみんなが福島のことを忘れるのを待っていた？

小出 福島事故だつて「絶対来ない」と言っていたような巨大地震に襲われて潰れてしまったわけですし、今年には能登半島地震で明けたわけです。能登半島でも「あんな地震は絶対に起きない」と国の安全基準で言ってきたわけですが、実際には突然、150キロもの活断層が連動して動いて、海岸が4メートルも隆起するといふことが起きているのです。次に来たらアウトだ、と思っていなければいけないと思います。
— 「第7次エネルギー計画」でズルいのは、「地球温暖化の防止のために原発は必要だ」という趣旨で進めようとしています。原発は「海温め装置」で、地球温暖化を促進する発電所ですよ？

小出 はい。原発はCO2を出さない、と彼らは言っています。でもCO2がなければ植物は生きていけない。植物が生きられなければ人間も生きていけない。確かに化石燃料を燃やせばCO2は出るけれど、原発を動かせば「死の灰」が出てしまう。「死の灰」は地球の生命体にとって圧倒的な毒物なのです。必ず必要なCO2が悪くて、「死の灰」を出す原子力がいい、なんて初めから間違えています。
— 「死の灰」を出しながら、クリーンだと宣伝しています。

小出 はい。おまけに原子力は遠方もなくCO2を出すのです。

編集長より

いつも「路上のラジオ」をご愛聴くださりありがとうございます。この番組が始まったのは2019年5月です。もう5年を超えて放送を続けています。皆さまの変わらぬご声援とご支援に感謝する毎日です。放送開始当時は、第4次安倍政権の最中、終わりの見えないウソにまみれた独裁政権に、何としても庶民の力で抗わなければと西谷の呼びかけでスタートしました。

しかしながら今も、この番組が必要な時代がまだまだ続きます。政権はそのままですし、地方では歪んだ現代社会の申し子のような半グレ政党が不気味に蠢きます。

民主主義を愚弄するふざけた団体が政党的仮面をかぶって政見放送を乗っ取り、街頭演説を妨害します。日本は果たしてこんな幼稚な国だったでしょうか？ りんとして強く、小さきものに優しく、静かに他者と向き合う、それが燃えかすとなった地から立ち上がった私たちの誇りではなかったのでしょうか？ 先へ先へと急ぐ中、仮想現実にあたかもあるかのように見える虚構の未来ばかりにすぎり、人間本来の倫理や哲学、人間味を失っていき、そんな現代社会を憂います。

そこで一遍の詩を思い出しました。坂村真民さん(1909)

2006)の「二度とない人生だから」。二度とない人生だから。こゝろありたい、という言葉が繰り返される、とても清廉でやさしい詩です。私が特に好きなのは、「二度とない人生だから一ぺんでも多く便りをしよう返事は必ず書くことにしよう」「二度とない人生だからつゆくさのつゆにもめぐりあいのふしぎを思い足をとどめてみてゆこう」というところ。それから終盤には、「二度とない人生だから戦争のない世の実現に努力しよう」という詩を編でも多く作ってゆこう。わたしが死んだらあとをついでくれる若い人たちのためにこの大願を書きつづけてゆこう」と

綴って閉じられます。多くの価値観にさらされて戸惑うとき、人には立ち返る場所が必要。そしてその場所があることは、とても大切で、幸せなことなんだと思います。文学はちょっと苦手という方には、合唱曲にもなっているようすし、シンガーソングライターのさとう宗幸さん(その昔、青葉城恋歌がヒット)がアルバムの中で曲をつけて歌っておられますので聴いてみてはいかがでしょうか？

これからも地に足をつけて「路上のラジオ」の活動に関わって参りたいと思います。(ディレクター・山本素)

まず原発は巨大な鋼鉄とコンクリートの塊なのですが、鋼鉄やコンクリートを作るときに膨大なCO2を出していますし、福島のような事故を起こせば膨大な化石燃料を燃やして処理に当たっています。おまけに「死の灰」(使用済み核燃料など)を出すので10万年、100万年という単位でそのお守りをしなければなりません。この間に一体どれだけのエネルギーを使つてCO2を出すのか。考えれば考えるほど、バカバカしいことになってしまふのです。私自身はCO2が温暖化の原因とは思っていませんが、仮に原因だと言うのなら「原子力だけはやってはいけ

ない」ということになります。

10万年の間、電気を使って冷やすとすれば膨大なCO2が…

小出 はい、様々なエネルギーを使わないといけない。

―― 原発で発電する電気と、「死の灰」をお守りするための電気を比べたら、発電よりも使う電気の方が多様な気がします。

小出 私は当然そうなるはずだ(苦笑)と思つています。原発なんてせいぜい40年、核のゴミのお守りのことを考えたら、途方もなく莫大な損失を抱えるということになります。

―― 危険で、無駄遣いで、温暖化を進めるのが原発。良いことは全く無しだということがわかりました。(続く)

編集後記

「万博&カジノを止めて維新を止める7・15大集会」は会場いっぱい、約500名の参加者で大成功でした。暑い中のご参加、ありがとうございました。当日の解説動画を約20分のDVDにしました。大爆笑の「盗人ブギ」も入っています。希望される方は、メールnishinishi@r3.dion.ne.jpまたは電話06(6170)4757まで連絡いただくと郵送します。この動画を家族、地域、労組の集会、井戸端会議の屋内版(笑)などで流してもらって、反対世論を高めてください。裏金自民もカジノ維新もダメ。次の総選挙は立憲野党の共闘でまっとうな政治に変えるチャンスにしましょう。ラジオでは万博&カジノはもちろん、兵庫県知事問題やガザでの殺戮、原発再稼働、アメリカ大統領選挙、株の大暴落など様々なトピックを取り上げていきます。引き続き、聴いてくださいね。